

2026年6月14日

ル・マン 24 時間レース：圧巻のレース！BMW M Team WRT が、1999 年 以来となる BMW M モータースポーツ初の総合表彰台を獲得

ロビン・フリンス、レネ・ラスト、シェルドン・ファン・デル・リンデが操る#20 シェル BMW
M ハイブリッド V8 が、白熱したレースを 2 位で完走

歴史的な勝利まであと 10.9 秒に迫るも、BMW M チーム WRT は 1999 年以來となる BMW
M モータースポーツのル・マン総合表彰台を獲得

アンドレアス・ルース：「我々はル・マンで再び成功を収めるために、長年にわたり努力を
重ねてきました。」

ル・マン 3 度目の挑戦で、BMW M Team WRT は伝説のル・マン 24 時間レース（フランス）において、待
望の初の大成功を収めた。白熱したレースの中、ロビン・フリンス（オランダ）、レネ・ラスト（ドイツ）、
シェルドン・ファン・デル・リンデ（南アフリカ）の 3 名は、#20 Shell BMW M Hybrid V8 で 2 位を獲得し
た。これは、1999 年に BMW V12 LMR で優勝して以来、BMW M モータースポーツにとってル・マンでの
初の総合表彰台となった。歴史的な勝利の再現も手の届くところにあったが、結局、最終ドライバーのフリ
ンスは優勝したトヨタに 10.9 秒およばなかった。

歴史的なル・マンの週末は、木曜日に幕を開けた。#15 BMW M Hybrid V8（ドライバー：ケビン・マグヌッ
セン（デンマーク）、ラファエレ・マルチェッロ（スイス）、ドリス・ヴァントール（ベルギー）が、BMW M
モータースポーツおよび BMW M チーム WRT にとってル・マンでの初のポール・ポジションを獲得したのだ。
レースでは、4 番手からスタートした#20 号車のクルーが序盤からトップに立ち、一時的にトップを走った。
フィニッシュ約 6 時間前のセーフティカー導入により、集団は再び混戦状態となり、最終ラップまで続くス
リリングな勝負の舞台が整った。#20 号車は最終的に表彰台に上がり勝利を祝った一方、#15 号車は早期リ
タイヤとなった。避けられない接触とパンクに続き、最終的に技術的な不具合により、クルーはリタイヤを
余儀なくされた。

LMGT3 クラスでは、予選で 5 番手と 6 番手を獲得し、レース序盤は好調なスタートを切った。しかし、24
時間のレースを通じて、2 台の BMW M4 GT3 EVO はトップグループのペースについていくことができな
かった。アウグスト・ファルフス（ブラジル）、ショーン・ゲラエル（インドネシア）、ダレン・レオン（イギ
リス）の組は 7 位でフィニッシュした。チームメイトのダン・ハーパー（イギリス）、パーカー・トンプソン
（カナダ）、アンソニー・マッキントッシュ（アメリカ）の組は、ギアボックスのトラブルによりリタイヤし
た。

ル・マン 24 時間レース後のコメント：

フランシス・ファン・ミール（BMW M GmbH CEO）：「『BMW M Concept Neue Klasse』の世界初公開と、
ル・マンでのスリリングでハラハラする 24 時間レースが重なり、信じられないほど感動的な週末となりました。
2 位という結果、そして BMW M モータースポーツにとって 27 年ぶりの表彰台。完璧なパフォーマンス

を見せ、優勝者からわずか 10 秒差という結果、これ以上ないほど素晴らしい結果でした。この素晴らしい成功に貢献してくれた、BMW M、BMW M モータースポーツ、そして BMW M チーム WRT のすべてのメンバーに心から感謝します。この素晴らしい成功に貢献してくださった皆様に心から感謝申し上げます。皆様は、『BMW M Hybrid V8』のようなプロジェクトを成功させるためにたゆまぬ努力を続けることで、何が達成できるかを示してくれました。おめでとうございます！」

アンドレアス・ルース (BMW M モータースポーツ責任者) :「なんて素晴らしい、歴史的な結果だろう！ポール・ポジションと表彰台の 2 位、信じられない！ロビン・フリンス、レネ・ラスト、そしてシェルドン・ファン・デル・リンデの各ドライバーを心から祝福する。これはドライバー、チーム、そして BMW M モータースポーツの全スタッフによる偉大な成果だ。私たちはこの結果をととても誇りに思う、皆に感謝している！我々はル・マンで再び成功を収めるために長年取り組んできたが、今回、2 位という形でその報いを得ることができた。信じられないほどエキサイティングなレースだった。私たちにとってはジェット・コースターのような展開だったが、最終的にわずか 10 秒差で 2 位に入賞できたことは素晴らしい成果だ。ピットストップ、戦略、すべてが完璧に機能していた。もちろんトヨタには、勝利を心よりお祝い申し上げます！15 号車がリタイアしたのは残念で、LMGT3 クラスではもっと良い結果を期待していた。その点は分析しますが、今は喜びが勝っています。」

ヴィンセント・ヴォッセ (BMW M チーム WRT チーム代表) :「これは、BMW M ハイブリッド V8 を搭載したチームとして、これまでで最も圧倒的なレースの一つでした。完璧そのものでした。ペナルティも、ミスしたピットストップも、何一つありませんでした。チーム全員と BMW M モータースポーツの皆さんに、おめでとう！我々是一个のチームであり、進歩を遂げており、この表彰台は当然の成果です。勝てなかったことについては、全く失望していません。トヨタが勝つに値した、おめでとう！15 号車のクルーには気の毒に思う。LMGT3 クラスに関しては、我々に勝ち目が全くなかったと認めざるを得ない。それは非常に残念だ。チームとドライバーの素晴らしい努力に心から感謝する。彼らは全力を尽くしてくれたが、残念ながら今回はそれだけでは足りなかった。」

ロビン・フリンス (BMW M Team WRT、#20 Shell BMW M ハイブリッド V8、2 位) :「正直、まだ何を言えばいいのかよく分からない。ル・マンで 2 位に入るのは素晴らしい成果だが、優勝が目前だっただけに少し悔しい。最後のセーフティカー導入で、直前にトラブルを抱えていたトヨタが巻き返してきた。彼らは我々より少しペースが良かったため、厳しい状況だった。レースの長い区間をリードしていたが、結局、セーフティカー後の状況では 2 位が我々の限界だった。」

レネ・ラスト (BMW M Team WRT、#20 Shell BMW M Hybrid V8、2 位) :「ほろ苦い表彰台だ。一方で、ル・マンで表彰台に立てるのは素晴らしい成果だ。チームも我々ドライバーも、すべてを正しくこなしたと言える。しかし残念ながら、今回はル・マンが我々を勝者に選んでくれなかった。レースの長い時間帯でリードしていたが、最後のセーフティカーで戦略が少し狂ってしまった。勝利にこれほど近づいている時、当然勝ちたいと思うものだ。」

シェルドン・ファン・デル・リンデ (BMW M Team WRT、#20 Shell BMW M Hybrid V8、2 位) :「最初は、笑うべきか泣くべきか、正直わからなかった。24 時間のレースを終えて優勝者からわずか 10 秒差でフィニッシュしたのだから、最初は受け入れがたいものだった。

しかし、過去 2 年間を振り返り、我々が成し遂げた大きな進歩を見れば、非常に誇りに思える。チームは我々をこの位置に導くために全力を尽くしてくれた。もちろん、ル・マンで勝つチャンスがまた巡ってくるかは誰にも分からないが、我々は間違いなく再挑戦する。」

ケヴィン・マグヌッセン (BMW M チーム WRT、#15 BMW M ハイブリッド V8、DNF) :「今日は単に我々のレースではなかった。いくつかのトラブルがあったが、それもル・マンというものだ。幸い、同じチームのマシンが我々の不運を補って見事な表彰台を獲得してくれた。それは結局のところ、我々全員にとって大きな成功だ。#15 号車の我々については、より強くなって戻ってくる。」

アウグスト・ファルルス (チーム WRT、#32 BMW M4 GT3 EVO、LMGT3 クラス 7 位) :「まず初めに、表彰台に立ったハイパーカーのクルーにお祝いを述べたい。素晴らしい戦いだったし、当然の結果だ。我々のレースは厳しいものだった。すべてを正しくこなし、技術的な問題もなく、ピットストップもすべて完璧だった。残念ながら、表彰台を争うには力不足だった。単純にペースが足りなかった。それでも、ここル・マンでグリッドに立てることは、いつだって大きな名誉だ。」

ダン・ハーバー (チーム WRT、#69 BMW M4 GT3 EVO、DNF) :「パーカーやアンソニーと同様に、僕も初めてのル・マンはもっと違うものになると想像していた。しかし、こう考えることも必要だ。私はこの特別なイベントに初めて参加し、その一員になれたことを光栄に思う。今後、さらに多くのル・マン参戦があることを願っている！今回は残念ながら、トップ争いをするだけのペースがなかった。さらにギアボックスのトラブルも発生した。それでも、我々が成し遂げたことには誇りを持てる。」

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <https://www.bmw.co.jp>